

令和 3 年度

事業報告書

社会福祉法人三峰会

特別養護老人ホーム回生園

回生園デイサービスセンター

回生園介護センター

大崎町在宅介護支援センター

回生園ホームヘルプサービス

グループホーム回生園

## 1 総括

令和3年度法人の事業推進にあたっては、介護、福祉を取り巻く環境の変化や利用者ニーズの多様化に対応すべく、社会福祉法人三峰会基本理念である「あたたかく・・・」「やさしく・・・」を基本に福祉事業を通して地域社会に貢献することを目標に全職員一丸となって福祉サービスの提供に努めた。

事業面では、新型コロナ対策に起因する面会規制や行事、イベント等の中止が継続する中で創意工夫による活動が実施できた。一方、特養内で新型コロナウイルス感染症が発生したことから再発防止に向けた総合的な取り組み強化が必要である。

### ① 法人組織の連携強化

各事業所の管理責任者による現況や課題把握のための合同会議及び法人委員会等を通して情報の共有化を図り、法人全体としての各事業所間の連携強化に努めた。

### ② 福祉サービスの質の向上

利用者の満足度を高めることを目的に福祉サービスを提供する職員の知識、能力、技術のレベルアップ、資質向上を図るために各種研修会やオンライン研修会等に積極的に参画して福祉サービスの質の向上に努めた。

### ③ 新型コロナウイルス感染対策と環境整備

新型コロナウイルスの感染経路を遮断するためにご家族の理解をいただきながら利用者、家族が安心してサービスを受けられるよう国や県の指導に基づき感染対策を実施し、国の補助事業を最大限活用して新型コロナウイルス感染対策のための環境整備に努めた。

しかし、結果的に施設内で感染者が発生したことから「感染しない」「うつさない」ための取り組み、意識啓発をさらに強化してまいりたい。

## 2 人づくり、人材育成の取り組み

質の高い福祉サービスを安定的、継続的に提供する介護職員等の資質向上を図るために、内外における研修会や委員会等を通して知識や技術の研鑽に努めた。

主な外部研修	主な内部研修
<sup>1</sup> ユニットケアワンポイントセミナー	法人研修
新人職員研修	特養（委員会）研修
スキルアップリーダー研修会	合同会議
たん吸引研修会	入所検討委員会
人材育成研修会	食中毒・感染予防まん延防止委員会
看取り介護研修会	安全衛生委員会
人材育成・離職防止研修会	事故防止委員会
介護施設義務化研修会	苦情処理委員会
入居者のためにできること研修会	虐待防止・権利擁護委員会
BCP 作成研修会	身体拘束廃止委員会
相談・苦情解決事業研修会	個人情報保護委員会
摂食嚥下障害と認知症ケア	法令遵守委員会
接遇マナーとコミュニケーション	褥瘡発生防止委員会
ハラスメントオンラインセミナー	給食委員会
<sup>2</sup> リスクマネジメント研修会	喀痰吸引委員会
虐待防止・権利擁護研修	看取り介護委員会
リーダー研修会 ほか	非常災害防止委員会 ほか

### 3 地域への貢献

地域に根差す社会福祉法人の責務として、地域における公益的な取り組みの一環で地域住民への緊急時の物的支援を行う「かごしまおもいやりネットワーク事業」及び大崎町シルバー人材センターとの連携による「高齢者雇用促進事業」を実施した。

また、デイサービスセンター利用者からサービス回数を増やしてほしい旨の要望を踏まえて令和 2 年 1 月からスタートした介護保険外サービス事業について継続するとともに、更なる充実に努めた。

### 4 ライフ加算取得へ向けた取り組み

介護サービスの質の向上を目的に、国による科学的介護情報システム（ライフ）を導入、推進するために部門ごとに委員会を立ち上げるとともに加算導入へ向けた基盤づくりを行った。

## 5 事故・苦情への対応

事故の発生直後に速やかに原因究明、再発防止のための検証作業を行い、さらに、事故防止委員会で再度、改善策の検討を行うことで事故の再発防止に努めた。

また、苦情・相談等の公表については、外部委員を交えた<sup>5</sup>第三者委員会で実態の報告・検証を行い、事業推進の透明化を図った。

## 6 県指導監査の結果

老人福祉法第18条第2項の規定により、令和3年11月25日大隅地域振興局において指導監査（特養、ヘルプ障がい）が実施され、関係書類の検査、検証の結果、いずれも適正に執行されている旨の評価を受けた。

### 令和3年度の主な事業

月 日	事 業	概 要
4月1日	辞令交付式	新規採用者
5月24日	監事監査（決算監査）	令和2年度決算
6月10日	第1回理事会	令和2年度決算ほか
6月10日	評議員選任・解任委員会	新評議員の選任
6月14日	47周年創立記念行事	職員10年表彰
6月25日	定時評議員会	令和2年度決算ほか
6月25日	第2回理事会	理事長選任
7月22日	慰霊祭	園内
7月26日～	夏まつり（スイカ割、花火、そうめん流し等）	園内
7月28日	夜間防災訓練	大崎消防分署
9月20日	敬老の日伝達式	入居者
10月11日	運動会	園内
10月29日	衆議院選挙不在者投票	園内
11月3日	文化祭	写真展示ほか
11月11日	野外給食	多目的ホール
11月25日	指導監査（特養、ヘルプ障がい）	大隅地域振興局
11月30日	第3回理事会	第一次補正予算ほか

12月10日	昼間防災訓練	職員
12月24日	クリスマスケーキづくり	コンテスト
1月1日	年頭あいさつ式	理事長挨拶
3月17日	第4回理事会	令和4年度事業計画ほか
3月24日	第2回評議員会	令和4年度事業計画ほか
3月29日	第三者委員会	令和3年度事故・苦情

## 注釈

### 1 ユニットケア

介護施設において入居者の個室と共用スペースを生活空間として専任スタッフが食事、入浴、余暇活動を共に行うケア。

### 2 リスクマネジメント

経営面に影響を及ぼす事業継続やセキュリティ、内部統制などについて事前に把握、回避もしくは、事後に最小化する対策を講じること。

### 3 かごしまおもいやりネットワーク事業

県内の社会福祉法人が生活に困っている方に対して、相談や支援活動を行う事業で支援に必要なお金は、加入法人から集めた拠出金で対応する。

### 4 科学的介護情報システム（ライフ）

国の科学的介護情報システムへのデータ提出とフィードバック情報の活用により介護サービスの質の評価と科学的介護の取り組みを推進するために幅広い介護サービスにおいて新設された制度。

### 5 第三者委員会

施設サービス等に関して、外部より寄せられた苦情・相談等について外部委員で構成する委員会に報告し、透明性を確保する。

## 特別養護老人ホーム回生園

### 1 総括

入所者数に関しては、令和2年度と比較して一日の入所者数は定員60人に対し55.9人となった。依然として入院の長期化や新規入所までの空床期間があるため、介護報酬減の一要因となっている。

短期入所は、1日10名の定員に対し、1日平均5.8人の利用者で、1.1人の減少となった。引き続き、退所に伴う入所手続き等の迅速化により空床率の改善に努め、利用者目線のサービス提供に努めてまいりたい。

### 2 重点事項

#### (1)利用者の立場に立った質の高いサービスの提供

個別計画作成担当者を中心に多職種による担当者会を実施し、利用者に合った介護サービスを提供することができた。

#### (2)職員の育成と人材の確保

外部研修の活用と内部研修の継続による技術、知識の醸成に努めた。特養研修については、参加率に課題が残った。人材の確保については、充足率、定着率の観点から、今後、外国人の導入について検討したい。

#### (3)事故防止への取り組み

事故検証委員会をはじめ、特養会議、リーダー会議において事故原因の検証作業や再発防止策の検討を行った。再発事故も少なくないことから再発防止策の完全履行が課題である。

#### (4)新型コロナウイルス感染症等に対する防疫の強化

新型コロナウイルス感染症をはじめ他の感染症等に関する予防について、特養職員の意識啓発や取り組みは一定程度実施できたが、結果的に新型コロナウイルス感染症が発生してしまった。このことを教訓に、新年度へ向けた感染対策を再構築してまいりたい。

#### (5)持続可能な事業運営と経営の安定化

法人の中核事業である特養における入居率の向上や各種加算の導入に課題が残った。結果、一部経営面の目標を達成することができなかった。経費面では、職員確保に伴う経費抑制が今後の課題である。

### 3 年間月別平均入所者数

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特	2	58.3	58.2	56.7	54.5	56.1	54.0	53.0	53.9	56.4	55.0	54.6	57.9	55.7
	3	58.3	56.9	58.7	56.8	58.9	58.7	56.1	53.8	51.0	53.2	54.6	54.0	55.9
養		0.0	▲1.3	2.0	2.3	2.8	4.7	3.1	▲0.1	▲5.4	▲1.8	0.0	▲3.9	0.2
短	2	5.7	6.5	7.7	8.1	8.5	7.2	5.6	6.3	6.6	7.0	6.3	7.9	7.0
	3	7.9	6.8	7.6	8.0	6.9	7.1	5.3	5.0	4.3	5.1	4.4	2.5	5.9
期		2.2	0.3	▲0.1	▲0.1	▲1.6	▲0.1	▲0.3	▲1.3	▲2.3	▲1.9	▲1.9	▲5.4	1.1
1入所者		0	1	1	0	5	0	1	0	7	4	1	2	22
1退所者		0	1	1	2	2	1	4	3	4	3	2	1	23

### 4 特養入所者介護度別実利用者数

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
令和3年度		12(1.8%)	179(25.4%)	322(44.9%)	197(27.9%)	710
令和2年度		22(3.1%)	142(20.2%)	344(49.0%)	195(27.7%)	703
令和1年度		16(2.3%)	131(20.3%)	310(43.4%)	251(34.0%)	708
平成30年度		12(1.7%)	128(18.3%)	301(43.1%)	258(36.9%)	699
平成29年度		22(3.2%)	99(14.1%)	341(47.0%)	256(37.5%)	718
平成28年度		24(3.4%)	110(15.6%)	337(47.1%)	246(34.0%)	717

### 5 短期入所介護度別延べ利用者数

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
令和3年度	45(2.1%)	71(3.3%)	377(17.6%)	441(20.6%)	698(32.5%)	375(17.5%)	138(6.4%)	2145
令和2年度	12(0.5%)	48(1.9%)	250(9.9%)	902(35.4%)	574(22.6%)	549(21.6%)	211(8.3%)	2546
令和1年度	0(0.0%)	74(3.0%)	496(19.9%)	719(28.9%)	633(25.5%)	257(10.3%)	311(12.4%)	2487
平成30年度	11(0.7%)	107(7.0%)	366(23.9%)	271(17.7%)	370(24.1%)	311(20.3%)	97(6.3%)	1533
平成29年度	4(2.6%)	0(0.0%)	26(17.2%)	66(43.7%)	41(27.2%)	14(9.3%)	0(0.0%)	151
平成28年度	12(1.4%)	12(1.4%)	66(7.5%)	263(29.9%)	200(22.7%)	232(26.4%)	95(10.8%)	880

○総括

利用者が住み慣れた地域で生活できるように、<sup>1</sup>アセスメントと情報収集を行い、利用者に合った通所介護計画、機能訓練計画に基づき利用者と家族が満足できるようなサービスを提供する努力を行った。<sup>2</sup>居宅介護支援事業所や<sup>3</sup>地域包括支援センターと連携し、利用者の確保に努め、自費利用を行うことで利用者ニーズに合った運営をおこなった。コロナウイルス感染予防について、安全に安心して利用が出来るよう対策を行い施設内での感染を防ぐことが出来た。また、休業中のサービスについて可能な限り必要なサービスを検討し、計画通り提供することが出来た。

1 重点事項

(1) 令和3年度報酬改定に伴うサービス内容、質向上への取り組み

令和3年度改定に伴うサービスの変更について検討し、ご利用者様・ご家族様に説明を行い安心してサービスが継続できるよう努めた。また、サービスの質向上のため理学療法士による専門的な機能訓練の導入や介護技術や接遇など内部研修での勉強会を積極的に行った。

年末にはご利用者様・ご家族様を対象にアンケートを実施し、集計・結果報告を行うと共に頂いたご意見を元に改善点の検討を行いよりよいサービスへ繋げることが出来た。

(2) 介護保険外サービスへの取り組み

総合事業（支援）の方々を対象とする保険外サービス（令和2年1月20日より開始）について回生園デイサービスセンターの特徴として包括支援センターや居宅介護支援事業所へ周知頂いており、令和3年度の新規利用者獲得へ繋げることが出来た。

(3) 介護処遇改善加算継続への取り組み

令和3年度改定の際検討を行い行政への手続きと共にご利用者様・ご家族様へ説明を行い継続させることができた。

(4) 新型コロナウイルス感染症予防対策への取り組み

迎え時の体温測定や体調確認、マスクの着用、デイ到着時のうがい手洗い、手指消毒、歩行器や車椅子・トイレ・手すり・送迎車の消毒の徹底。入浴時や車中の密を避けるための対策。また、職員はもちろんご利用者様の家族へご協力をいただき県外からの帰省の情報提供及び接触時の利用の自粛等、担当ケアマネと情報共有を行いながら必要な介護、支援が継続して行えるよう配慮し対策を行った。また、外部からの訪問者について、記録台帳を準備しもしもの時の為の対策を行った。

2 利用状況

① 月別利用者数

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	461	516	463	460	451	429	443	481	467	417	291	357	5,236
事業	94	101	104	107	88	108	104	92	101	108	69	85	1,161
自立	8	8	8	7	8	8	8	8	8	8	6	8	93
自費	18	17	19	17	22	12	16	16	8	14	9	10	178
合計	581	642	594	591	569	557	571	597	584	547	375	460	6,668



② 介護度別利用者数

(単位：人)

年/区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	自立	自費事業	合計
R 3	320	841	2,266	2,005	447	355	163	93	178	6,668
R 2	516	799	2,048	1,798	394	425	74	95	157	6,306
R 1	758	749	2,405	1,575	475	322	57	93	0	6,434
H30	804	823	2,348	931	508	452	29	70	0	5,965
H29	477	1112	2113	896	739	220	123	91	0	5,771

③ 年度別利用者数

区分	1日平均利用人数	対前年度比
令和3年度	21.8人/日	+1.4人/日
令和2年度	20.4人/日	-0.1人/日
令和元年度	20.5人/日	+0.5人/日
平成30年度	20人/日	+1.4人/日
平成29年度	18.6人/日	

注釈

1 アセスメント

評価・査定という意味で利用者の情報を集めて分析し、課題解決を明らかにするもの。

2 居宅介護支援事業所

在宅の要支援者が適切に介護サービス利用できるようケアマネージャーが在籍し、要介護認定の申請のお手伝いや利用者の居宅サービス計画（ケアプラン）を利用者や家族の立場になって作成をお手伝いする。

3 地域包括支援センター

地域の高齢者に対して健康・医療・福祉などの必要なサービスを包括的に提供する中核機関。

## 回生園介護センター

### 1 総括

前年度と比べると利用者数は減少、介護支援専門員一人当たりの担当件数は、32件から30.4件と1.6件の減少となった。今年度も新規利用者獲得に努めていく。

新型コロナウイルス感染流行拡大により、令和4年2月、同法人内でも陽性者が発生。ショートステイ・デイサービス事業所が休止・縮小する事態となった。サービス調整を行うため、法人内外の訪問介護利用の追加、デイサービスが実施した配食・入浴支援、他のデイサービス事業所の一時的利用などにより、なんとか乗り越えることが出来た。この経験は今後のBCP策定に活かしていく。

感染拡大防止のため、通常通りの訪問が行えない場合は、家族や各関係サービス事業所との連携を密に行うようにし情報共有を行い、利用者の状態把握に努め、1ケアマネジメントを行った。訪問を行う際は、十分感染症対策に努めた。

#### (1) ケアマネジメントの質の向上と公正中立性に向けた取り組み強化

- \*法人・事業所内で研修を行い、知識・技術の向上に努めた。オンライン配信での研修にも積極的に参加した。
- \*大崎町にて開催されるケアマネ研修会に出席し、他事業所の介護支援専門員と事例を通しての資質向上、情報共有に努めた。
- \*利用者・家族からの情報収集のもと、多角的な視点からアセスメントを行い、必要時には専門職種へアドバイスを求め利用者ニーズの把握に努めた。
- \*利用者が、ニーズにあったサービス利用を自己決定出来るよう、地域にあるサービス事業所や<sup>2</sup>インフォーマルサービスの情報を説明し、利用者・家族への支援を行った。

#### (2) 感染症や災害への対応力強化

- \*感染症や災害が発生した際に、必要なサービスが継続的に提供できる体制を構築するための話し合いを、ケアマネ研修会にて保険者・地域包括支援センター・他事業所の介護支援専門員と実施。今年度も継続して実施予定。
- \*感染症対策としてオンラインでの会議を行った。

### 2 事業実績概要

#### ① 要介護度別利用者数

年度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
令和3年度	340	289	87	50	25	791
令和2年度	319	362	138	80	9	820
令和元年度	393	287	107	17	10	814
30年度	282	174	86	57	0	599
29年度	203	189	76	48	11	527
28年度	196	196	77	69	16	554

#### ② 要支援又は事業対象者、利用者数

年度	事業対象者	要支援1	要支援2	合計
令和3年度		69	56	125
令和2年度		77	101	178
令和元年度	4	85	87	176
30年度	20	120	69	209
29年度		96	71	167
28年度		37	120	157

③ 在宅介護支援センターの利用状況

実績	食の自立支援事業	5件
	緊急通報装置体制整備等事業	0件
	認知症初期集中支援推進事業	46件
	要介護認定の更新におけるサービス未利用者訪問(電話確認を含む)	17件
	災害時要援護高齢者の実態把握及び支援	0件
	介護方法に関する相談	0件
	高齢者・要介護者の健康に関する相談	1件
	医療に関する相談	0件
	介護保険サービスに関する相談	22件
	介護保険以外の福祉サービスに関する相談	2件
	福祉機器の利用・使用方法等に関する相談	0件
	住宅の増改築に関する相談	1件
	その他の相談	2件
	相談延人員	96人

【主な業務内容】

- ・ 地域ケア会議
- ・ 給食調査(食の自立支援事業のアセスメント)
- ・ 認知症初期集中支援チーム員会議・訪問
- ・ 緊急通報対応
- ・ 要介護認定の更新におけるサービス未利用者訪問

注釈

<sup>1</sup> ケアマネジメント

介護保険制度下で、個人の多様な要求に対応し、各種サービスを調整して適切で効果的なケアを提供すること。

<sup>2</sup> インフォーマルサービス

介護保険制度外で展開される地域での見守りサービスのようなサービスのこと。家族をはじめ近隣が地域社会、NPOやボランティアなどが行う援助活動で公的なサービス以外のものを指す。

# 回生園ホームヘルプサービス

## 1 総括

前年度と比べると目標の1か月の利用回数は全体を通して減少となった。要因としては利用者の入院、入所等による訪問回数の減少があげられる。また、令和2年度からヘルパーの高齢化に伴い退職者が続いたことで、訪問時間帯が重なり訪問の調整が難しかったこともあげられる。ヘルパーの採用については、令和3年8月に1名の職員を採用したことから新年度は、利用者回数増に向けて新規利用者獲得に努めていく。

- ① 利用者が自立した日常生活を営むことができるように配慮して、利用者・家族・訪問介護員からサービス状況を聞き取り、居宅ケアマネや家族と連携を図り訪問介護計画を作成しサービス提供が出来るように努めた。
- ② より良いサービスを行いたく確かな判断が出来るよう、介護技術と処遇の統一を図るため、毎月2回以上のミーティングと研修を行い処遇の統一を図った。利用者の体調変化や状況変化に気付き、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めた。
- ③ 利用者やその家族に信頼されるように、常に訪問の際に、利用者の表情・体調観察を行い家族へ状況報告を行いサービス提供に努め、信頼関係構築につなげた。
- ④ 新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策防止に向けて取り組んだ。

## 2 利用状況

### (1) 年間月別平均介護利用回数（目標利用一か月回数520回）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	538	529	499	480	441	465	499	472	475	430	439	551	5,818
目標回数差	18	9	▲21	▲40	▲79	▲55	▲21	▲48	▲45	▲90	▲81	31	平均▲35.2
令和2年度	559	575	621	645	645	616	681	681	646	615	564	553	7,401
令和元年度	450	465	439	471	474	503	553	528	554	536	506	545	6,024
平成30年度	547	541	453	451	456	454	545	525	499	491	450	473	5,885
29年度	517	522	520	506	517	517	466	439	471	459	487	550	5,971
28年度	432	377	408	376	412	424	419	474	499	442	430	515	5,208

### (2) 年間月別サービス区分別利用者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	28	27	28	28	25	26	24	25	26	26	27	32	322
総合	19	19	19	20	18	19	18	18	18	19	17	15	219
身障	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
合計	48	47	48	49	44	46	43	44	45	46	45	48	553

### (3) 年間介護度別利用者数

年/区分	要支援1	要支援2	事業対象者	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	身障	合計
令和3年度	96	123	—	108	159	15	24	16	12	553
令和2年度	69	130	—	111	158	72	32	13	12	597
元年度	63	158	—	111	72	58	37	8	12	519
30年度	90	150	11	131	95	26	36	6	12	557
29年度	114	70	16	102	110	26	35	11	15	499
28年度	101	89	5	92	68	12	22	28	24	441

\* ヘルパー現在8名活動（令和3年8月1名、令和4年4月1名採用）

## グループホーム回生園

### 1. 総括

- ① 認知症ケアにおいて、入居者が安定した日常生活が営まれるように、利用者主体のケアサービス計画の作成及び実践を行い、適切な支援に努めた。
- ② 非常時災害対策として利用者の避難訓練をとおして、非常時災害の意識向上を図った。
- ③ 重度化対応の可能性を前提に看護師と医療機関等との連携を密にして、24H 対応に努めた。
- ④ 認知症ケアの勉強会を定期的実施し、認知症専門職としての資質向上を図った。

### 2. 年間利用者の推移

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	270	279	270	279	268	270	279	270	279	279	252	279	3,274
定員	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
利用者数	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108

### 3. 職員の状況

区分	管理者	計画作成担当者	介護職員	看護職員	合計
正規職員	1名	1名	5名	1名	8名
臨時職員			1名		1名
合計	1名	1名	6名	1名	9名

### 4 行事・研修等の状況

#### ① 主な行事

- 4月 第89回運営推進会議・害虫駆除
- 5月 自己評価
- 6月 第90回運営推進会議
- 7月 夜間防災訓練・七夕
- 8月 第91回運営推進会議・花火大会
- 9月 敬老行事・誕生会
- 10月 第92回運営推進会議・運動会・屋外昼食会・誕生会
- 11月 昼間防災避難訓練・屋外昼食会・文化祭
- 12月 第93回運営推進会議・クリスマス会・ケーキコンテスト・誕生会
- 1月 誕生会・書き初め
- 2月 第94回運営推進会議・誕生会・節分豆まき
- 3月 誕生会

その他 グループホーム会議、内部研修・カンファレンスを毎月開催し、資質の向上に努めた。  
 コロナウイルス感染防止のため、運営推進会議は資料配布で対応。家族会中止。

1日2回、環境整備。ご家族面会は窓越し対応とさせて頂く。